

第1回講習会を受講した多くの方々に続けてご参加いただき、いよいよ模擬患者としての演技指導が始まりました。全体説明のあと、8つのグループに分かれてそれぞれの部屋に移り、演習用のシナリオが渡されました。初めて目にするシナリオに戸惑いながらも、医師役、患者役、観察者役に分かれて、参加者同士で演習に取り組みました。

今回は、息が苦しいという症状で、近所のクリニックを受診した作家という設定です。



最後は再び全員が集まり、抽選で選ばれた2グループの代表者が医師役、患者役として、シナリオに沿った演技を披露しました。

短時間の練習にもかかわらず、見事な演技に大きな拍手が送られました。

